

# 松阪市子ども支援研究センターだより

松阪市子ども支援研究センター 〈TEL. 26-1900 FAX. 26-1901〉

E-mail: [kyo.div@city.matsusaka.mie.jp](mailto:kyo.div@city.matsusaka.mie.jp) <http://www.city.matsusaka.mie.jp>

松阪教育支援センター「鈴の森教室」「三雲やまゆり教室」

〈TEL 26-1900 FAX 26-1901〉 E-mail: [suzunomori@matsusaka.ed.jp](mailto:suzunomori@matsusaka.ed.jp)

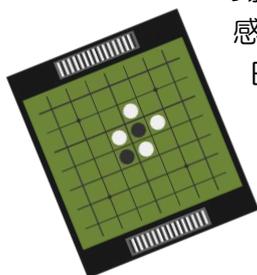
## 気分転換にいかがですか



日増しに秋の深まりを感じるころとなりました。運動会や修学旅行など、それぞれにお忙しい日々をお過ごしのことと存じます。

今年になってコロナ禍により生活様式やコミュニケーションの取り方が変わったと言われています。その一つに、室内で遊べるゲームが流行り、カードゲームやボードゲームの販売数が伸びているとのこと。当センター内にある「鈴の森教室」では、以前からコミュニケーションツールの一つとして、トランプやウノ、人生ゲームなどいろいろな種類のゲームが揃えてあります。ただ話をするだけでは緊張して会話が進みにくいけれど、ゲームというツールを挟むことで自然と会話が盛り上がり、緊張がほぐれて笑顔が見られたりします。また、何かを楽しむことは気分転換になり、疲れた体や心を元気にしてくれます。コロナの影響で、休業時は家庭訪問やオンライン授業に取り組み、登校が始まれば校内での感染予防対策に常に気を遣い、夏休みは授業数確保のため短くなってしまったり、日々疲れが蓄積されているのではないのでしょうか。

そんな時には、ちょっとした気分転換に、職場や家庭でゲームをしてみませんか。学校訪問をさせていただいた時に、多目的スペースにトランプや将棋などがあるのを見かけましたが、きっと短時間で楽しめて気分転換にもなると思います。(ちなみに私は『ダブル』と『はぁ？』というゲームでリフレッシュしてます。)



## タブレットがやってくる

令和元年度に閣議決定された一人1台端末を目指す『GIGA スクール構想』が、コロナ禍により今年度中の前倒し整備となりました。来年からスムーズに運用が始められるようにと、現在整備をはじめ活用や研修についてプロジェクトチームが一丸となって進めているところです。

児童生徒が1台ずつタブレットを持つことで新たな学びが始まると言われています。「どんな授業をしようかな」「何ができるのかな」とワクワクされている先生方は1月が待ち遠しく、「うまく操作ができるかな」と不安に感じてみえる先生方は、1月までに何をすればいいのかと困ってみえることと思います。そこで、子ども支援研究センターの研修講座として、ICT活用のための研修講座をいくつか計画しています。タブレットの起動の仕方から授業での活用まで、幅広い内容を考えていますので、どうぞご参加ください。スマホの機種変更をただで戸惑う私も受講生として参加しようと思います。



(西出 雅子)

## 松阪教育支援センター「鈴の森教室」「三雲やまゆり教室」

当センターは「疲れた心を元気にする」「あなたの気持ちや考えを大事にする」ことを大切にしています。通室生への支援活動では、2つの教室を開設し、体験活動や小集団での活動を通して、子どもたち同士や指導員との交流を深め、心が安定したり人との交流の楽しさを感じられたりできるように努めています。当センターに通うことで、「心が安定してきているな」「集団でのかかわりを通して、人に話しかけたり、笑顔で過ごしたりすることが増えてきたな」と感じる子どももいます。昨年度の子どもたちは教室でにぎやかに過ごすことが多かったですが、今年度は穏やかに教室内で過ごす子どもが多い印象です。

松阪地域の不登校児童生徒のうち、当センターの「鈴の森教室」「三雲やまゆり教室」の通室生としてかかわっている児童生徒の数は、年度途中ではありますが全体の約1割にとどまっています。「学校に行けていない子どもたちを何とかしたい」「学校には行きにくいけどせめて違う機関等につなげたい」と子どものことを熱心に思い、すぐに当センターへ通室させたいという声が多くありました。自宅で休んでいる子どもたちにとっては、自宅が一番安心できる場所の場合もあります。安心できる場所にいることで、子どもたちはエネルギーを溜め、外に出る準備をしています。エネルギーが溜まったときには、自らの意志で外に出ようとします。無理をすることで子どもたちが「鈴の森教室にも行きたくない」という気持ちにはしたくありません。「外に出てみようかな。でも、いきなり学校に行くのは勇気がいるなあ」「少しずつ外に出るのに慣れていけるといいんだけど」と思ったときに、そのきっかけとして当センターを紹介していただけたら幸いです。通室については、学校、家庭、当センターで協議を重ねながら進めていきたいと思っておりますので、その時には、ご協力よろしく申し上げます。

教育相談活動としては、休みが増えはじめてきたことで心配なことや、不登校の子どもへの支援の仕方等の相談も受け付けています。少しでも早い時期に、子どもへの支援の仕方や不安に感じていることについての相談をしてもらうことで、欠席の長期化を防ぐことができます。教員だけでなく、保護者の相談も受け付けていますので、気になる児童生徒がいましたら保護者に当センターをご紹介ください。また、今年度から設置された不登校児童生徒支援員(NASS)と協力して、いろいろな事情で当センターまで足を運んでいただけない保護者の方との相談や、家から出られない児童生徒の話の聞いたり、かかわったりする訪問相談業務を行っています。

担任会研修会では、不登校児童生徒をどのように支援していくか、専門の先生をお招きしてお話をいただいたり、先生方が日ごろ悩んでいることについての質問に答えていただいたりしています。今年度も年3回実施させていただき、今後は来年1月にも開催予定ですのでぜひご参加ください。

